

## 参加体験型イベント「子どもお店バトル」に協力

～ 「商店街のにぎわい」創出と「商売の面白さ、お金の大切さ」体験 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、10月26日（土）に行われた生野本通中央商店街振興組合主催の「子どもお店バトル」の開催に協力しました。

これは、地元の子どもたちが商売を通じてヒト・モノ・カネの流れなどを学ぶ機会を提供するとともに、商店街のにぎわいを取り戻すことを目的として、大阪市立大阪ビジネスフロンティア高校（天王寺区）と同商店街が企画した「参加体験型イベント」です。一般公募の小学生と同校生徒各2名でチームをつくり、同商店街に設けた仮店舗で売り上げや利益を競います。

当日は、参加した8チームが13県の特産品をユニークなポップで紹介するなど工夫を凝らして販売するなか、多くの通行人が足を止めて買い求めていました。

当金庫は、13県の各在阪事務所と連携し、特産品の仕入れから納品などの店舗運営に協力するとともに、模擬金融機関「信用金庫」を出店し、売り上げの入金や両替を体験していただき、「商売の面白さ、お金の大切さ」を学んでいただきました。

当金庫は今後も「信頼で地域とつながる」のスローガンのもと、皆さまから愛され信頼される金融機関を目指し、地元大阪の発展に貢献してまいります。

### 記

1. 日時 令和元年10月26日（土） 10時～15時
2. 場所 生野本通中央商店街（大阪市生野区）
3. 参加者 32名（小学生16名、高校生16名）
4. 出店数 8店舗  
13県の特産品を販売  
（①宮城・福島県、②岩手県、③岡山・島根県、④三重・宮崎県、  
⑤高知県、⑥広島県、⑦群馬・長野県、⑧大分・鹿児島県）



各県の特産品が並んだ店舗



当金庫が出店した「信用金庫」

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

